



長野県下高井農林高等学校
TEL:0269-82-3115

令和7年度

農林だより

10月号



QRコードから
ホームページにアクセス!

オープンスクール開催

10月18日、中学生を対象にオープンスクールを開催しました。初めに本校の教育内容や特色を紹介し、その後3つのグループに分かれて授業見学を行いました。

本校の特色である農業科の授業では、山岳道への設置を想定した木製階段の設計や、アップルパイの調理実習が行われており、中学生たちは熱心に授業内容や作業手順を見学していました。農業科の情報の授業では、表計算ソフトを用いたグラフ作成の説明に、本校生徒とともに耳を傾けていました。また、普通科の授業見学も実施され、数学、地理、英語の3科目を見学した中学生たちは、実際の高校での学びを肌で感じているようでした。

このオープンスクールが中学生の皆さんの進学後の学習イメージを深める良い機会となれば幸いです。今後も本校の教育の魅力を広く伝えるための機会を設けてまいります。



トンボをつかまえろ!

1学年の生物の授業ではトンボの捕獲と観察を行いました。

トンボを捕獲し、慎重に網から取り出してパラフィン紙に挟みます。最初は戸惑っていた生徒も次第に扱いに慣れ、自然とのふれあいを楽しみました。

その後、捕獲したトンボをよく観察して羽の模様や体のつくりから種類を特定します。自分で捕まえたトンボだからこそ、観察にも自然と力が入り、学びが深まりました。

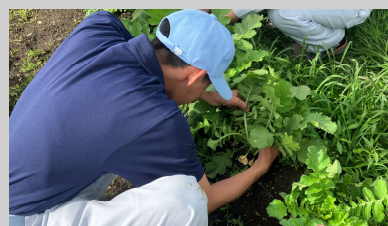


くくり罠の実習

里山では、農作物を食い荒らす野生動物による被害が深刻な問題となっています。本校環境創造コースの2年生は、農村生活マイスター下水内支部の皆さんと連携し、野生動物対策の一環として「くくり罠」の設置実習を行いました。

事前の講義では、被害の現状や対策の重要性について学び、その後、野沢温泉村猟友会の指導のもとで実際に罠の設置方法を習得しました。日本全国で害獣被害が拡大する中、こうした地域との協力や持続可能な農村環境の維持は、農業科が担う重要な役割の一つです。

下高井農林 Life Log



1年生の農業と環境の授業では、前回の記事で紹介した白菜と大根の世話を行いました。

白菜には追加の肥料を撒きました。大根は同じ箇所に2つずつ種を播いており、生えた2本のうち、成長が良い方や葉が元気な方を判断して残して、劣っている方を間引きしました。

農業の機械化が進んでいる昨今ですが、機械ではできない作業がまだまだあります。